



過日、学校評価アンケートに御協力をいただきありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、御報告させていただきます。結果を考察し、3学期や次年度の教育課程に生かして、「幸せな学校」作りを進めていきたいと思えます。今後とも御理解をいただき御協力をお願いいたします。

## 【令和3年度 後期 学校評価アンケート結果】

### 教育活動中間報告～学校アンケートより～

#### I 後期（2学期末）アンケート結果の傾向と分析

**肯定率**…「あてはまる」「まあまああてはまる」の2つの評価を「概ね満足している」捉えた割合。

評価項目	児童(%)		保護者(%)		教職員(%)	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 学校が楽しい	89	87	96	93	100	100
2 みんなで何かするのが楽しい	92	91	97	99	100	100
3 自分にはよいところがある	83	76	86	85	80	91
4 友達と学習するのは楽しい	93	89	93	91	100	91
5 主体的に学習に取り組んでいる	89	91	83	82	70	91
6 学習を通して、今までよりできるようになったことが増えた	92	92	93	91	100	100
7 信頼できる先生がいるか	89	87	70	87		
8 家や学校で進んで読書をしている	64	65	46	39	60	72

#### ○全体的な評価について

- ・ほとんどの項目において、児童、保護者、教職員共に高い評価をしている。集団で学習したり活動したりすることを楽しいと感じている児童が多い。また、主体的に学習に取り組み、「できた」「分かった」と実感している児童も多い。
- ・「信頼できる先生がいる」では、保護者の肯定率が17%も上がった。今後も信頼関係を大切にし、保護者の皆様と連携しながら支援していく。
- ・「自分にはよいところがある」では、児童の肯定率が7%下がった。自己肯定感の低さが浮き彫りになっている。

## ○グランドデザインに掲げた評価項目（太枠の部分）の数値目標の達成について

- ・Q3:「自分にはよいところがある」では、「あてはまる」(49%)「まあまああてはまる」(27%)だった。教師によるボイスシャワーや自分と向き合い、自分のよさを見付ける時間を設定したが、今後も自己肯定感を高めていける手立てを取る必要がある。
- ・Q6:「学習を通して今までよりできるようになったことが増えた」では、「あてはまる」(67%)「まあまああてはまる」(25%)だった。授業で、課題設定の工夫やルーブリック（達成目標）を考えることを通して、学習の見通しをもつことができるようになった。また、学習用タブレットを活用することにより、自分で考えたことを可視化することができ、友達と学び合うことができた。

## Ⅱ 今後の取組について

### ○学びづくり

- ・対話力が向上する工夫をします。

「聞く」「話す」に力を入れて、相手を意識して自分の考えを伝えることや友達の考えを聞くことを授業の中で大切にします。

### ○生活づくり

- ・良さを見付けられる場の設定をします。
- ・行動を価値化する言葉掛けに努めます。

子供の行動の表れや目標に向かって努力する過程を、認め、励ましていく声掛けを教師が積極的に行う。子供同士で認め合う場を学級で設定し、良さを認め合う雰囲気作りを努める。



【学校ホームページ】

URL <https://kasahara-e.fukuroi.ed.jp>